



01 国際交流員のコラム

- 日置市美山に行ってきました！鹿児島県国際交流員(金周希(キムジュヒ) 韓国出身)
- 中国観光シリーズ～上海編～ 鹿児島県国際交流員(許 奎 (キョ ケイ)中国出身)

02 知事の動き

- 「第33回鹿児島県青少年国際協力体験事業」参加団員の皆さまが帰国報告のため訪問されました(7月 28日)
- 鹿児島県日韓親善協会総会・会員交流会に出席しました(7月 30 日)

03 かごしまのイベント情報

- さつま黒潮「きばらん海」枕崎港まつり(8月 1 日・2 日)(花火は2日のみ)
- かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会(8月 29 日)

🌟 Coming UP! 【令和 8 年 9 月、10 月のイベント情報】

04 国際戦略課コラム

- 鹿児島とアメリカをつなぐ交流の歴史

01 国際交流員のコラム

○ 日置市美山に行ってきました！

鹿児島県国際交流員（金周希(キム ジュヒ)韓国出身）

鹿児島県と姉妹都市を結んでいる韓国の都市をご存じですか？それは「全北特別自治道」です。全北特別自治道と鹿児島には、はるか昔から続く特別なご縁があります。今から約 400～500 年前、朝鮮半島から鹿児島へ渡ってきた陶工たちが、鹿児島を代表する伝統的な焼き物である「薩摩焼」の発展に大きな役割を果たしたからです。その中でも、現在の全北地域出身の陶工が多く、特に南原市出身の陶工が多かったといわれています。



写真：全北特別自治道 HP

こうした歴史的なつながりを背景に、鹿児島県と全北特別自治道、そして日置市と南原市はそれぞれ姉妹都市を結び、現在も活発な交流を続けています。そう考えると、私自身もこうしたご縁のおかげで、国際交流員として鹿児島に来ているのかもしれません。

そこで今回は、ご先祖様たちの足跡をたどり、韓国と特別なつながりを持つ日置市美山地区を実際に探検してみました。歴史や焼き物、そしておいしいグルメまで楽しめる、美山の日帰りコースをご紹介します。

●日置市へ出発！

日置市は、鹿児島市から車や電車でアクセスできます。今回の目的地である美山は日置市の中心部から少し離れているため、車での移動がおすすめです。

私も車で向かいましたが、高速道路を利用すれば鹿児島市から約 40 分で着きます。街を離れて美山へ向かう道中には、鹿児島の美しい自然が広がっていて、ドライブを楽しむのにもぴったりです。

●腹が減っては戦ができぬ！美山でランチ

美山に到着して、まず向かったのはランチのお店でした。やっぱり旅行は「花より団子」ですよ！

ここは美山でも有名な生パスタ専門店です。一般的な乾麺とは違い、もちもちとしていて柔らかな生パスタの食感がとても印象的でした。

私が注文したのは、有頭海老「天使の海老」のガーリックバターパスタでした。一口食べた瞬間、「あ、これが私の人生最高のパスタになるかもしれない！」と思ってしまうほど、本当においしかったです。エビの旨味と香ばしいガーリックバター、そしてもちもちとした生パスタの組み合わせが絶妙でした。

とても人気のお店なので、週末は待ち時間が発生することもあります。訪れる際は、開店時間に合わせて行くのがおすすめです！



▲すごくお腹が空いていたので大盛にしました(笑)

●美山の歴史に触れる、沈壽官窯



写真：沈壽官窯 HP

お腹をしっかり満たしたところで、今回の旅のメインスポットへ向かいましょう！

それが沈壽官窯です。美山は薩摩焼の歴史を語るうえで欠かせない場所です。文禄・慶長の役を経て、朝鮮半島から日本へ渡ってきた陶工たちがこの地

に定住し、焼き物を作り始めました。その伝統は現在まで受け継がれています。

中でも沈壽官家は、400年以上にわたって陶磁器制作の伝統を受け継いできた由緒ある陶家です。現在も15代沈壽官がその伝統を受け継ぎ、作品を生み出しています。

薩摩焼が世界的に知られるようになったきっかけの一つが、パリ万博への作品出品です。高い評価を受けたことをきっかけに、薩摩焼は鹿児島を越えて、日

本を代表する焼き物の一つとして世界に知られるようになりました。

こうした歴史を実際に見ることができるのが、沈壽官窯の収蔵庫です。収蔵庫では、沈壽官家の歴史とともに、長い年月をかけて作られてきたさまざまな作品を鑑賞することができます。



写真:沈壽官窯 HP

繊細で華やかな装飾が施された作品を見ていると、何百年にもわたって受け継がれてきた陶芸技術と職人の心意気を、肌で感じることができます。

展示を見学した後は、売店で作品を購入することもできます。普段の生活で使える器から花瓶、置物まで、さまざまな陶磁器作品が並んでいるので、お土産を選ぶのも楽しみの一つです。

特に、韓国から渡ってきた陶工たちの技術が鹿児島で「薩摩焼」という独自の文化へと発展し、その伝統が今も受け継がれていることを思いながら作品を眺めると、より一層特別なものに感じられました。

●お茶で締めくくる美山の旅

美山探検の最後のコースは、可愛いカフェでいただく一杯のお茶です。ここではカフェの目の前に広がる茶畑を眺めながら、お茶を楽しむことができます。

青々とした茶畑を眺めながら、ゆっくりとお茶を一口飲んでいると、忙しく動き回った旅の最後を、ゆったりと締めくくるような気分になります。

歴史ある焼き物とおいしいグルメ、そして美しい茶畑まで。韓国と鹿児島の長いご縁を実際に感じる事ができる場所、それが日置市美山です。鹿児島で少し変わった旅先を探しているなら、韓国と日本の歴史が交わる美山へ、一度出かけてみてはいかがでしょうか？



▲抹茶チョコレートとほうじ茶ラテ

○ 中国観光シリーズ～上海編～

鹿児島県国際交流員(許 奎 (キョ ケイ)中国出身)

「中国旅行シリーズ」第2回へようこそ。今回は、中国の「魔都」こと上海と一緒に探検していきましょう。上海市の人口は約 2500 万人で、これは鹿児島県の約 16～17 倍に相当します。一方、面積は鹿児島県の 7/10 に過ぎません。この地では、中国で最も近代的な一面が育まれている一方で、古くからの伝統も守り続けています。

旅行聖地

① 東方明珠放送テレビ塔

高さ 468 メートルのこのテレビ塔は、上海のランドマークとして ほうとう/ブードン 浦東 りっかし の陸家嘴(高層ビルが立ち並ぶ世界有数の金融・商業中心地)にそびえ立ち、上海の美しさを堪能するのに絶好のスポットです。塔の最上階に上がれば、全面ガラス張りの空中展望デッキを散策して「空中散歩」を体験できるほか、アジアで最も高い回転レストランで夜景を眺めながら美食を楽しむこともできます。上海を訪れたら必ず立ち寄りたい名所です。



とうほうめいしゅ
写真: 東方明珠HP

② 豫園



写真: 豫園 HP

賑やかな上海の都心に、静かな私設庭園「豫園」がひっそりと佇んでいます。もともとは明代の官吏が両親への孝行として築いたもので、「豫」には「安泰、愉悦」という意味があり、そこから「豫園」と名付けられました。ここでは、中国古代の伝統的な亭や楼閣を鑑賞し、地元の美味しい料理を味わい、上海の静かな一面を感じることができます。

③ ディズニーランド

中国本土で唯一のディズニーテーマパークであるここでは、大人の仮面を脱ぎ捨て、のびのびとした子供に戻ることができます。ここは、本格的なディズニーのスタイルを保ちつつ、中国の要素も巧みに取り入れています。花火の下で、きっとあの頃の「童心」を取り戻せるはずです。



写真：ディズニーランド HP

おすすめグルメ

① シェンジェンバオ 生煎包



写真：小楊生煎 HP

生煎包は、100 年以上の歴史を持つ地元の伝統的な軽食であり、2019 年に上海市無形文化遺産リストに登録されました。黄金色にカリッと焼けた底、ふんわりとした生地、濃厚で甘みのあるスープ。一口かじると汁が溢

れ出し、やみつきになる味わいです。

② かにおうめん 蟹黄麵(シェホアンメエン)

上海はカニで有名ですが、中でもカニの身から作られた「蟹黄麵」は絶品と言えます。一碗の麵を作るのに、十分な量の蟹黄ソースを作るために数匹もの上海蟹が必要となるため、価格は比較的高めです。しかし、カニの塩気と香ばしさが滑らかな麵と相まって、一口食べれば悩みも吹き飛んでしまうほどです。



写真：蟹叁寶 HP

02 知事の動き

○「第33回鹿児島県青少年国際協力体験事業」参加団員の皆さまが帰国報告のため訪問されました(7月 28日)

7月19日から7月26日まで、ラオスでの国際協力体験事業に参加した県内の中高生17名の皆さまが、帰国報告のため県庁を訪問されました。

参加された団員は、ラオスでホームステイや海外青年協力隊員の活動視察等を行ったとのことで、「自分自身を成長させることができた」、「今回の体験を通して視野が広がった」、「将来国際的な機関で働きたい」などと報告してくださいました。

今回参加された団員の皆さまが、ラオスでの経験を通して、将来、世界を舞台に活躍されることを楽しみにしています。



▲中高生の皆さまとの記念写真



▲帰国報告の様子

○ 鹿児島県日韓親善協会総会・会員交流会に出席しました(7月 30 日)

塩田知事は、鹿児島県日韓親善協会令和8年度総会・会員交流会に出席し、あいさつをしました。

あいさつでは、会員の皆さまが日頃から鹿児島と韓国との交流に尽力いただいていることに対して感謝の意をお伝えしました。

また、今後も鹿児島と韓国との友好関係をさらに深めていきたいとお話しました。



▲挨拶の様子



▲総会・会員交流会の様子

03 かごしまのイベント情報

○ さつま黒潮「きばらん海」枕崎港まつり(8月1日・2日)(花火は2日のみ)

「きばらん海」は昭和26年8月から、航海の安全と大漁、五穀豊穡、商売繁盛、地場産業の振興を祈念して始められた南薩摩最大の夏祭りです。枕崎ならではのふるまいや催し、大迫力の総踊り・大漁みこしの他、夜空を彩る一万発の花火大会は人々の心をふるわせます。

九州最大の三尺玉花火が打ち上がる鹿児島県人気の花火大会であり、鹿児島県薩摩半島の南に位置する枕崎市で2日間開催される港まつり。日曜日の花火大会は鹿児島でも3本の指に入る人気の花火大会です。スターメインや仕掛花火など総打ち上げ1万発の花火、花火大会のラストには市民の寄付による九州最大の三尺玉花火がサイレンを合図に打ち上がる事で有名です。今年も多くの人で賑わいました。



▲きばらん海の様子「© K. P. V. B」



▲三尺玉花火「© P. K. N」

○ かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会(8月 29 日)

ミレニアムを機にスタートした鹿児島の夏の風物詩。世界有数の活火山桜島と波静かな錦江湾という世界に誇れる自然景観を背景に開催する九州最大級の花火大会です。

開催時間:19:20～(花火打上は 19:30～)20:30



▲花火の様子「© K. P. V. B」▲

🌟Coming UP!【令和8年9月、10月のイベント情報】

◇ 9月

6日 2026 第12回 伊佐ハーフ・リレーマラソン (伊佐市)

12日 2026 志布志みなとまつり (志布志市)

22日 2026 川内大綱引 (薩摩川内市)

◇ 10月

10日～11日 2026 阿久根みどこい祭り(11日:花火大会)(阿久根市)

17日～18日 鹿児島ジャズフェスティバル (鹿児島市)

31日～11月1日 焼酎ストリート (鹿児島市)

ぜひ、足を運んでみてください♪



○鹿児島とアメリカをつなぐ交流の歴史

鹿児島とアメリカの交流は、幕末、今からおよそ 160 年前の薩摩藩による海外派遣までさかのぼります。

1865 年、薩摩藩は西欧の文化を取り入れ、藩の近代化を図るため、19 人の若者を英国へ送り出しました。いわゆる「薩摩藩英国留学生」です。その中の一人である長沢鼎(ながさわ・かなえ)は、その後アメリカへ渡り、カリフォルニアでワイン産業の発展に大きく貢献しました。ワイン醸造事業を成功させ、「ブドウ王」とも呼ばれる長沢鼎の足跡は、若き薩摩の群像(© K. P. V. B)鹿児島とアメリカの交流を象徴するエピソードの一つとして語り継がれています。



こうした国際交流の精神は、現在の鹿児島県にも受け継がれています。県が策定した「鹿児島県国際戦略」では、米国を中国や台湾、韓国などと並び、「人的・物的交流の更なる深化を図る国・地域」に位置付けています。これは、経済、観光、国際交流など幅広い分野で、県がアメリカとの関係強化を重要視していることを示しています。

経済面でも、アメリカは鹿児島にとって極めて重要なパートナーです。県産農林水産物の輸出先として米国は最大の市場であり、令和7年度の輸出額は約310億円と全体の半分を占めています。鹿児島が誇る和牛、養殖ブリ、お茶などが高く評価され、多くの消費者に親しまれています。



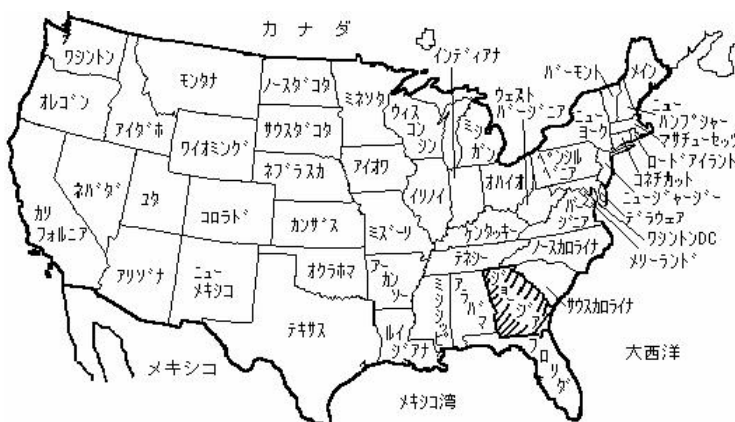
アメリカでも人気のある鹿児島の食材(© K. P. V. B)

こうした流れをさらに加速させるため、塩田知事は近年、アメリカで積極的なトップセールスを展開しています。今年4月にはテキサス州やワシントン D.C.を訪問し、現地スーパーや輸入商社等に向けて鹿児島県の食の魅力を発信しました。ワシントンの日本大使公邸で開催されたレセプションには約 300 人が参加し、和牛やブリ、本格焼酎などの県産品を PR しました。



令和8年4月の知事トップセールスの様子(© 鹿児島県)

さらに人的交流の面では、鹿児島県とジョージア州との交流も続いています。昭和 41(1966)年に姉妹盟約を締結したジョージア州とは、2026 年に提携 60 年の節目を迎えます。これまで、青少年交流やジョージア州紹介セミナーの実施などを通じて、両地域の相互理解と友好関係を深めてきました。こうした交流は、次世代を担う若者たちが異文化への理解を深め、国際的な視野を広げる貴重な機会となっています。



ジョージア州の位置



ジョージア州紹介セミナーの様子(© 鹿児島県)

薩摩藩が海外へ若者を送り出した時代から 160 年以上。鹿児島とアメリカの交流は、留学というかつての形から、貿易、観光、人材交流へと形を変えながら発展を続けています。先人たちが築いた国際交流の精神を受け継ぎながら、両地域の絆がこれからもさらに深まっていくよう、取組を進めていきたいと思えます。



ダイヤモンド桜島(© K. P. V. B)

編集後記 (鹿児島県 総合政策部 国際戦略課)

皆さん、こんにちは！！

猛暑が続きますが、皆様どのようにお過ごしでしょうか？お祭りの多い時期なので、今回国際交流員に出身国ではどのような祭りがあるのか聞いてみました！

金周希(韓国出身):韓国のお祭りは、地域の特産品の PR や地域の文化や歴史を広く知ってもらうことを目的として開催しています。鹿児島県の姉妹都市である全北特別自治道・全州では、毎年夏に「全州世界ソリ祭り」が開催されます。「ソリ」とは韓国語で「音」を意味し、伝統音楽が盛んな全州ならではの特色を生かしたお祭りで、韓国の伝統音楽だけでなく、世界各国のさまざまな音楽を楽しむことができます。今年は 8 月 12 日から 16 日まで開催されました。🎵🎶

モラン ベンジャミン(イギリス出身):日本のようなお祭りはありませんが、イースター(イエスキリストの復活祭)があります。イースターエッグ(色鮮やかにペイントされた卵)を贈り、子羊の料理を食べます。開催日は3月 21 日以降で教会歴(キリスト教で用いられる歴)の満月の次の日曜日です。🐰

許奎(中国出身):中国も日本のような祭りはありませんが、少数民族に伝わるお祭りがあります。

火把節(たいまつ祭り)というお祭りは、中国南西部に暮らす彝(イ)族などに伝わる伝統的な祭りで、特に四川省、雲南省、貴州省などで盛んに行われています。火把節は旧暦の 6 月 24 日前後に行われることが多く、地域によっては数日間開催されます。

人々はたいまつを持って街や村を歩き、火を囲んで歌ったり踊ったりします。また、民族衣装を身

につけ、伝統的な歌や踊りを披露するほか、競馬や相撲などの伝統競技を行う地域もあります。

火は、邪気や災いを追い払い、豊作や家族の健康を願うものと考えられているため、自然への感謝や五穀豊穡、家族の幸福を祈る意味を持っています。

現在では、地域の人々だけでなく、多くの観光客も参加する大規模なイベントとなっており、夜空を照らす無数のたいまつと、人々が一緒に歌い踊る光景は、火把節を代表する美しい風景です🔥

皆さんも興味のある国のお祭りをぜひ調べてみてください！！

それではまた次号もお楽しみに☆彡

「かごしま南の風便り掲示板」では、次の鹿児島に関する話題を募集・掲載いたします！

☆鹿児島フォトギャラリー

鹿児島らしさを感じる写真や海外で見つけた鹿児島の写真を募集いたします。

写真の簡単な説明を添えてお送りください（例：克灰袋の山）。

その他、読者の皆様に発信したい情報もお待ちしております。

▲▽ 記事提供・お問い合わせ先 ▼▲

鹿児島県総合政策部 国際戦略課
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10-1

電話番号: +81-99-286-2306

FAX 番号: +81-99-286-5522

E-mail: minami@pref.kagoshima.lg.jp

・ 鹿児島県庁ホームページ

<http://www.pref.kagoshima.jp/>

・ 広報紙「県政かわら版」

<http://www.pref.kagoshima.jp/kohokocho/kouhoushi/kohosi/kawara/index.html>

・ 鹿児島県観光サイト かごしまの旅

<https://www.kagoshima-kankou.com/>



※ 本記事の著作権は鹿児島県に属します。無断での再配信、転載及び掲示板等への掲載は禁止します。